

中学校給食導入実施計画書

市町村名： 摂津市

1. これまでの検討経過等（対外的な公表内容（議会答弁、記者会見、広報誌等）含む。）

中学校給食について学校給食会を中心に自校方式、センター方式、親子方式、スクールランチ方式等の各方式の、それぞれのメリット、デメリット、また、イニシャルコスト、ランニングコストなどを比較検討し協議してきた。

中学校給食の実施にあたっては、財政的な負担が大きいことから、これまで具体的な検討に至らなかったが、大阪府が補助制度を設けたことから、ランニングコストについては引き続き財政的な負担が大きいものの、イニシャルコストの負担が軽減される。府下各市の取り組み状況も踏まえて、本市も導入に向けた検討を進めている。（議会答弁等）

これまでの検討を踏まえて、3月27日に市議会文教常任委員協議会を開催し、対象者・実施形態等について本計画書 2以下の説明を行った。

2. 全中学校への給食導入に向けたスケジュール

・全中学校数：5校（うち、完全給食未実施校数：5校）

<各学校の整備スケジュール>

中学校名	種別	生徒数	対象者	実施形態	（配送元施設）	整備開始	整備完了	給食開始
摂津第一中学校	新設	532名	選択制	民間		26年7月	26年12月	27年4月
摂津第二中学校	新設	530名	選択制	民間		26年7月	26年12月	27年4月
摂津第三中学校	新設	434名	選択制	民間		26年7月	26年12月	27年4月
摂津第四中学校	新設	428名	選択制	民間		26年7月	26年12月	27年4月
摂津第五中学校	新設	336名	選択制	民間		26年7月	26年12月	27年4月

※種別は、「新設」or「改修」を記載

※生徒数は、直近の5月1日現在の人数を記載。

※対象者は、「全員喫食」or「選択制」のいずれかを記載。

※実施形態は、自校方式（「自校」）or共同調理場方式（「共調」）or親子方式（「親子」）or民間調理場活用方式（「民間」）のいずれかを記載。

※配送元施設は、「共調」「親子」の場合のみ記載。

3. 喫食率等（選択制の場合のみ）

- ・ 目標喫食率：30%
- ・ 喫食率の設定の考え方：現在の弁当持参率が7～9割であり、家庭の事情等により弁当を持参できない生徒に対して、給食を実施する。
- ・ 喫食率向上の取組計画：デリバリー方式での給食が「冷たい」との印象があるため、容器やスチームコンベクションオーブン等による直前過熱による方法などの工夫により適温での提供を行う。また、生徒・保護者に対し試食会を開催し、デリバリー給食の内容を知っていただく。

4. 食育の推進方策

各学校において、食に関する指導の目標を設定し、その具体化に向け関連教科、道徳、特別活動の学習の時間など、教育活動全体の指導計画に基づき、食に関する指導を充実させるため教職員が共通理解をもって、学校の教育活動全般を通じ組織的・計画的な食育に取り組み、栄養や食生活のあり方、望ましい発育や発達について指導を行う。また、給食だより・保健だより・食育だより・学校だより等を通じて学校での取り組みの様子を発信し、保護者にも食育に対する関心や理解を深めてもらうよう取り組む。

5. 就学援助制度の導入の有無

- ・ 導入する（ 年 月頃）
- ・ 導入しない（理由：選択制のため）

6. 市町村施設整備資金貸付金の活用希望の有無

- ・ 希望する（26年度）
- ・ 希望しない

※貸付の決定は、別途市町村課が行います

7. その他